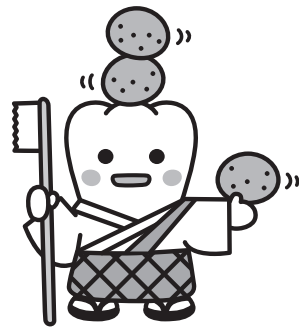


11月8日は いい歯の日



日本歯科医師会PRキャラクター
よ坊さん(和歌山県)

“口腔ケアでコロナ・肺炎の予防に繋げる”

新型コロナウイルスは、鼻・口や舌粘膜からも感染します。歯周病を放置すると、歯周ポケットという深い溝が出来てしまい、細菌の温床となり、ウイルス感染しやすくなる可能性があります。口腔の環境の良し悪しがウイルスの体内への侵入に大きく影響しますので、口を清潔にすることは新型コロナウイルスやインフルエンザウイルスの予防に有効です。

定期健診などの長期にわたる中断は、むし歯や歯周病の悪化を招き、新型コロナウイルス感染時の重症化に関連するとされ、生活習慣病のリスク因子にも影響を与えて健康に悪影響を及ぼす可能性があるため、次の流行期が来るまでの流行期間に歯科医院を受診することをお勧めします。

また、和歌山県歯科医師会も感染防止対策を適切に実施している証しとして日本歯科医師会発行の「みんなで安心マーク」の取得を各歯科医療機関に推奨しています。

こんな時だからこそ、より一層歯科医院での
プロケアを受けましょう。



和歌山県歯科医師会
会長 中西 孝紀

口から守るあなたの健康! その先にある笑顔を守りたい

